

## 第4章 史跡洲本城跡の価値と構成要素

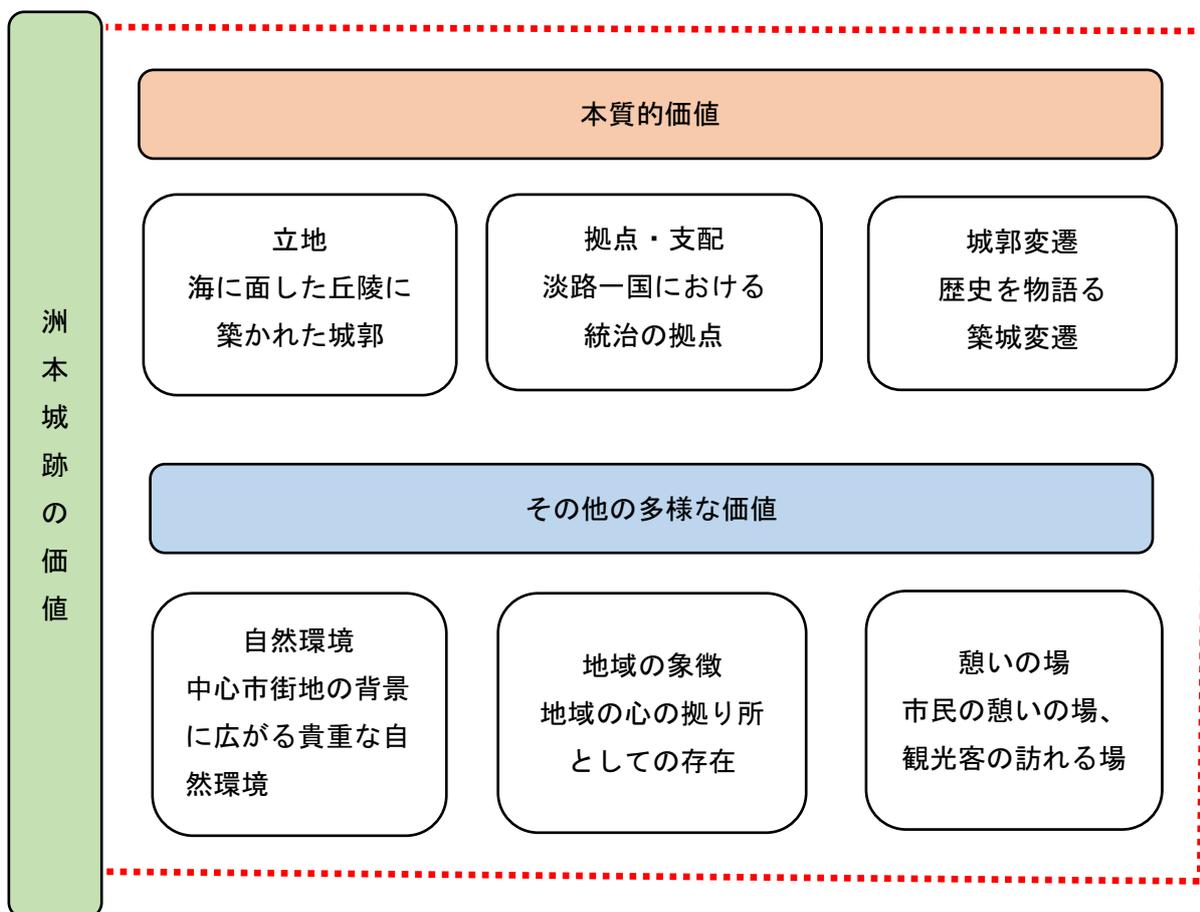
### 1. 洲本城跡の価値

洲本城跡の歴史的価値は、史跡指定理由の説明文としてまとめられている。（第3章 1. 指定状況 参照）

ここでは、その指定理由を、洲本城がこの地に築かれた歴史的背景、残存する縄張りや遺構を「本質的価値」として整理した。さらに洲本城が築かれた三熊山は、国立公園第2種特別地域にも指定される貴重な自然環境を有すること、廃城後も地域の象徴として存在してきた経緯、また市民や観光客の憩いの場としての果たしてきた役割等を、「その他の多様な価値」として捉え、あわせて洲本城跡の価値として整理した。

本質的価値	
立地	<p>大阪湾が一望できる要衝の地に築かれた貴重な城郭遺構である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明石海峡、紀淡海峡、鳴門海峡と3海峡に接する淡路島は、古代から海上交通の要衝として軍事上重要な場所であった。</li> <li>・三熊山山上に位置する城からは、紀淡海峡や大阪湾が望め、この地を選定した意図及び役割が容易に理解できる。</li> <li>・城の縄張りは、三熊山の地形（細長い丘陵や急峻な北斜面等）を巧みに活かして築かれている。</li> </ul>
拠点・支配	<p>戦国期から幕末まで、淡路一国における統治の拠点となった城郭である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀州熊野の水軍であった安宅氏の築城からはじまり、海上交通の要衝である紀淡海峡、大阪湾を制するための重要な役割を担った城である。</li> <li>・戦国期から近世初頭にかけて日本の歴史に密接に関わっている。</li> <li>・中世城館から近世城郭への変遷、近世大名の支配体制の変遷を示す貴重な城郭である。</li> <li>・洲本城は、その地理的要因により、時代によって城の役割が変化している。</li> </ul>
城郭変遷	<p>中世から近世にかけての築城技術の変遷を辿ることができる城郭である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然地形を巧みに活かした連郭式や梯郭式を組み合わせた縄張りや遺構が築かれている。</li> <li>・尾根上には東西約800m、南北約600mにわたる、広大な縄張りが築かれている。</li> <li>・洲本城の時代的変遷を示す中世城郭から近世城郭が重なり合いながら存在し、山上の山城・山腹の遺構・山下の居館跡・城下町が一体的に残存している。</li> <li>・洲本城を象徴する遺構である堅堀や時代変遷を物語る石垣が廃城後も残存している。</li> <li>・残存する登り石垣は、山上の城と山麓居館部をつなぐ倭城にみられる防御施設で、日本でも数少ない貴重な遺構である。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城郭の変遷とともに形成された「内町」と「外町」からなる城下町の町割りが現在も良好に残っている。</li> <li>・城下町には、洲本城に関する唯一の御殿建築である金天閣（兵庫県重要文化財）が移築保存されており、また徳島藩筆頭家老稲田氏の庭園である旧益習館庭園（国名勝）が保存整備されている。</li> <li>・洲本城跡と関連の深い城跡が市内に残存している。</li> </ul>
<b>その他の多様な価値</b>	
<b>自然環境</b>	<p>中心市街地の背景に貴重な自然環境が存在する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城跡が位置する三熊山は「国立公園第2種特別地域」に指定され、スダジイ林を始めとする貴重な自然植生が保護されている。</li> </ul>
<b>地域の象徴</b>	<p>城跡が地域における心の拠り所として存在している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城跡は、明治維新以後も時代の変化とともに、洲本市街地の背景、ランドマーク的な存在となっている。</li> </ul>
<b>憩いの場</b>	<p>市民の憩いの場、観光客が訪れる場として親しまれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山上からは、紀淡海峡や大阪湾、城下町の町割りが残る洲本の市街地を望む素晴らしい眺望が眼下に広がる。</li> <li>・城跡を舞台に、地域により様々なイベント等が開催されている。</li> </ul>



## 2. 構成要素

先に掲げた洲本城跡の価値における主な構成要素を、洲本城跡ならびに洲本城跡周辺に分け、本質的価値を構成する要素とその他の多様な価値を構成する要素を整理した。

洲 本 城 跡	<b>本質的価値を構成する要素</b>	<b>主な構成要素</b>
	<b>立地</b> ・3海峡に接する海上交通の要衝 ・大阪湾が一望できる山城 ・東西に延びる丘陵と急峻な斜面を活かした縄張りの構築	・三熊山の地形 ・本丸等からの大阪湾や紀淡海峡への眺望
	<b>拠点・支配</b> ・海上の監視や淡路一国の統治の拠点となった歴史的背景	・本丸等からの大阪湾、紀淡海峡への眺望
	<b>城郭変遷</b> ・地上で確認できる城郭遺構や、地下に埋蔵されている遺構、遺物 ・洲本城に関する史料である古絵図や文献	・縄張り、石垣、虎口、登り石垣、竪堀、古屋敷、池、井戸、土塁等 ・古絵図、文献史料
	<b>その他の多様な価値を構成する要素</b>	<b>主な構成要素</b>
	<b>自然環境</b> ・国立公園第2種特別地域に指定されている貴重な自然植生	・暖帯林 ・スダジイ ・ホルトノキ ・ミミズバイ ・タイミンタチバナ ・特定植物群落
	<b>地域の象徴</b> ・洲本市街地の背景、地域のランドマークとしての要素	・本丸から城下町への眺望 ・模擬天守、石垣
<b>憩いの場</b> ・憩いの場として市民、観光客に親しまれている要素	・本丸等からの大阪湾・紀淡海峡への眺望	
洲 本 城 跡 周 辺	<b>本質的価値を構成する要素</b>	<b>主な構成要素</b>
	<b>城郭変遷</b> ・城郭の変遷とともに形成された城下町の町割りや、残存する歴史的建造物等の歴史文化遺産 ・洲本城跡と特に関連の深い由良城跡をはじめとした周辺城郭等	・町割り（縦町、横町） ・金天閣 ・旧益習館庭園 ・寺町、歴史的建造物 ・由良城跡、炬口城跡、白巣城跡、猪鼻城跡等
	<b>その他の多様な価値を構成する要素</b>	<b>主な構成要素</b>
<b>地域の象徴</b> ・洲本市街地の背景、地域のランドマークとしての要素 ・現在も地域の人々により、受け継がれている城下町での生活	・城下町及び周辺からの模擬天守や石垣への眺望 ・町割り（縦町、横町） ・歴史的建造物	